



これからの公共施設を 考えるシンポジウム

～未来をひらく桑名のまちづくり～

日時

平成28年1月24日(日)
13:30開演(13:00開場)

場所

桑名市民会館 小ホール
(桑名市中央町3丁目20)

定員

300名(参加費無料、事前申込み不要)
※満席になり次第、入場をお断りさせていただきます

桑名市【市長とどこでもトーク】



※駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください

今後の公共施設の活用を一緒に考えてみませんか？ 皆さんのアイデアで、もっと素敵な公共施設に変えていきましょう！



本市では、人口増加に合わせ、多くの公共施設を整備し、サービスを提供してきました。現在、これら公共施設は老朽化が進み、今後、一斉に建て替えや改修が必要となります。しかし、市の財政状況は厳しく、これらすべての公共施設を維持していくことは不可能です。今後、人口減少や少子高齢化など社会環境が変化するなか、将来にわたり、必要なサービスを提供するため、皆さんの身近な公共施設を今後どのように活用するのか一緒に考えてみませんか！



プログラム

1. 主催者あいさつ / 桑名市長 伊藤 徳宇
2. 基調講演 / 根本 祐二氏 「インフラ老朽化問題は解決可能か」
3. パネルディスカッション 「公共施設再配置による新たなまちづくり」

◆コーディネーター / 阿部 博人氏

◆パネリスト / 根本 祐二氏 / 伊庭 良知氏 / 伊藤 孝紀氏 / 水谷 香織氏 / 伊藤 徳宇

※来場者の皆さんからのご質問等について、お答えいたします（市長とどこでもトーク）

基調講演者（パネリスト）



根本 祐二氏

東洋大学経済学部教授、同大学院経済学研究科
公民連携専攻長、PPP研究センター長。
専門は、地域再生、公民連携、社会資本等。
内閣府、国土交通省などで公職多数。



阿部 博人氏

（株）公共ファイナンス研究所代表取締役、
東洋大学 PPP 研究センターリサーチパートナー。
専門は、公民連携、公共施設マネジメント、
公会計など。
さいたま市公民連携事業アドバイザー。

パネリスト



伊庭 良知氏

社団法人国土政策研究会理事 PFI 事務局長。
専門は、公民連携、PFI 事業など。
桑名市行政改革推進委員会委員。



伊藤 孝紀氏

名古屋工業大学大学院准教授。
専門は、環境デザイン、建築計画・都市計画
など。桑名市の都市計画審議会及びブランド
推進委員会委員長。



水谷 香織氏

パブリック・ハーツ（株）代表取締役、
岐阜大学客員准教授。
専門は、社会的合意形成、交通計画、土木計画。
合意形成の現場支援、研修・研究開発。



桑名市長 伊藤 徳宇

来場者の皆さんから質問などお聞きします。
今後の公共施設の活用を一緒に考えていきま
しょう。

◎お問い合わせは

桑名市 市長公室 公共施設マネジメント課

〒511-8601 桑名市中央町2丁目37

TEL:0594-24-1229 FAX:0594-24-8602

E-mail: zaisankm@city.kuwana.lg.jp



本物力こそ桑名力

「桑名市 公共施設等に関する市民アンケート」結果報告

市長公室 公共施設マネジメント課

① 実施方法

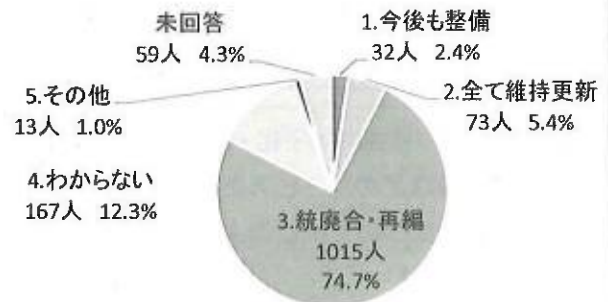
- ◇ 平成 27 年 10 月末から実施。(対象:市内にお住いの 20 歳以上の方 3,000 名を無作為抽出)
- ◇ アンケート記入後、回答用紙を同封の返信用封筒に入れ、返信。

② 回収結果 回収数 1,359 件 (45.3%)

③ 結果のまとめ

問 8 今後、公共建築物の修繕や更新に必要な財源の不足が予想される中で、今後の整備や維持管理・運営の進め方について、最もお考えに近いものを選んでください (〇は1つ。)

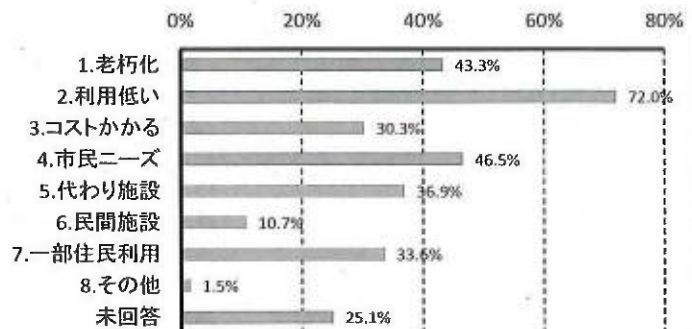
1. 公共建築物 (ハコモノ) はまだ不足しているの
で、今後も整備を進めるべきである
2. 既存の公共建築物 (ハコモノ) は全て必要なの
で、全て維持・更新すべきである
3. 市民ニーズや財政状況に見合った公共建築物
(ハコモノ)へと統廃合・再編を行うべきである
4. わからない
5. その他



「3. 統廃合・再編」が 74.7%、一方「1. 今後も整備」や「2. 全て維持更新」はかなり割合が低い。

問 9 公共建築物を削減する場合、どのような施設から削減すべきだと思いますか (〇は3つ。)

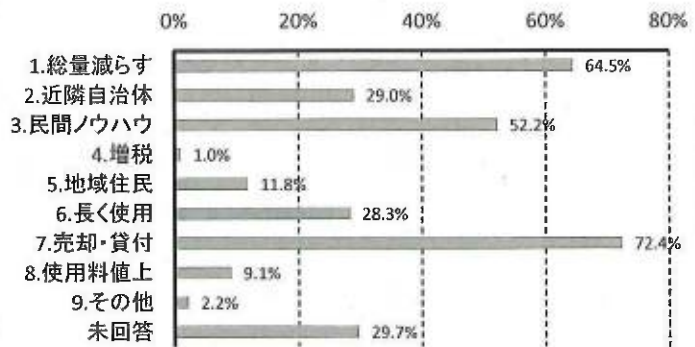
1. 老朽化が著しい施設
2. 利用度や稼働率が低い (あまり利用されていない) 施設
3. 維持管理や運営などコストがかかる施設
4. 社会環境変化などで市民ニーズに合わない施設
5. 同じような施設や代わりに使用できる施設が近隣にある施設
6. 民間施設でも利用できる施設
7. 一部の住民・団体にしか使われていない施設
8. その他



「2. 利用低い施設」が 72.0%、次いで、「4. 市民ニーズに合わない施設」が 46.5%、「1. 老朽化施設」が 43.3%である。

問 10 公共建築物の運営コスト削減や、修繕・更新のための財源確保に向け、どのような施策を優先して進めるべきだと思いますか（〇は3つ。）

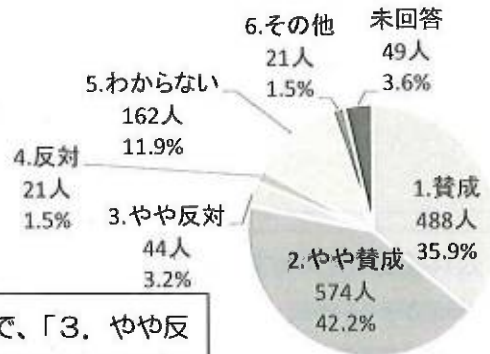
1. 現在ある施設の統廃合や多機能化等により施設の総量を減らす
2. 近隣の自治体と共同で施設整備や維持管理・運営を行う
3. 民間のノウハウや資金を活用し、コストを下げる
4. 増税などを行い、市民全体で負担する
5. 地域密着の施設は地域住民で維持管理を行う
6. 現在ある施設を改修し、長く使用する
7. 使われていない施設の売却・貸付けで収入を得る
8. 使用料・手数料を値上げする
9. その他



「7. 売却・貸付けで収入」が72.4%、次いで、「1. 多機能化等により総量減らす」が64.5%、「3. 民間ノウハウや資金活用」が52.2%である。

問 11 今後の少子化・高齢化の進展を踏まえ、学校を中心に、公民館や高齢者福祉施設、子育て支援施設などのサービスを集約（多機能化・複合化）し、地域コミュニティの拠点として整備していくことについて、どのように思いますか

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対
5. わからない
6. その他



「1. 賛成」「2. やや賛成」が78.1%で、「3. やや反対」「4. 反対」が4.7%と、大部分の方が賛成している。

問 12 あなたはこの1年間で桑名市の公共建築物をどの程度利用しましたか

